

会 議 録

会議の名称	第8回 長瀬町学校のあり方検討委員会
開催日時	令和3年11月18日(木)午後1時28分～午後2時54分
開催場所	長瀬町役場4階 全員協議会室
出席者	委員14名、事務局4名
欠席者	委員2名
会議の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 今後の望ましい学校教育のあり方について 報告書(答申)の(案)について (2) その他 4 事務連絡 5 閉会
会議の公開又は非公開	公開
非公開理由	—
傍聴人の数	0名
発言の内容	別紙「審議内容」のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回長瀬町学校のあり方検討委員会次第 ・今後の望ましい学校教育のあり方について(答申)(案)
事務局	教育総務担当
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1 開会 (事務局)

2 委員長あいさつ (委員長)

3 議事

- (1) 今後の望ましい学校教育のあり方について
報告書 (答申) の (案) について

事務局)

前回の会議で答申に向けた方向性がまとまったため、報告書を付けて答申をするという形で、事務局で報告書と答申の案を作成いたしました。報告書は、協議をしていく中で、委員の皆様からいただいたご意見を入れる形で作成しております。なお、報告書の構成は、前回の会議で提示した枠組みを基に構成いたしました。

(答申案の説明)

委員の皆様には予め答申案をお配りし、目を通していただくようお願いをしておりましたが、特にご意見はいただいております。

事務局からの説明は以上です。

事務局) 答申と報告書の両方をふまえてご意見があればということで配付させていただいて、意見がなかったということなのですが、今日までの間に何かあればお聞かせいただければと思います。

委員) 15 ページの課題のところの 1 行目が文章的に「小学校 2 校が統合する場合」でしょうか。みなさんで再度確認できたらと思います。

委員) 一生懸命まとめていただいて、お手伝いできることがなくて申し訳なかったなという感じ。どういうものが正解で不正解なのか、私にはわからないのですが、充分納得して読ませていただきました。

委員) 学校を統合し、最終的には小中一貫を目指すということで。地域の人の話を聞くと、統合するしかないのではという意見のほうが多い気がします。統合に関連して跡地をどうするのか、企業誘致やテナントで貸したらどうかという話しもある。

委員) 何回か読ませていただいたが特にはありません。

委員) 長い文章を読ませていただく中で、15 ページを見て、両校のあり方に望ましい生徒のあり方に対する教育的な考え方ということで書いてあるのですが、各項目に対して「結論に至った」「結果であった」と書いてあるのですが、この結果は誰が出したのか。毎回会議に出席しているが、結論は出ていなかったのに、なぜこの文章が出てきたのかという印象をもった。今のタイミングで、答申に対する打合せが必要なのだろうと思うので、自分なりの考えを報告します。

1 枚目が答申ということで、全体のまとめになっているのかなと感じた。提出先は町長などに届くような答申になるのかなと思うのですが。

事務局) 教育長に届いた後に、どんな内容が討議されたかについて町長に報告されます。

委員) 長い年月をかけて、みなさんで話し合った結果が文章としてまとめられて、大変だったと思うが、検討委員会の中で、ある程度煮詰まったもので、答申を書いた方が良いのではと感じた。

答申について考えて、1 番目に 2 行目のところに学校規模の適正化というのがあるが、教育委員会に説明するとき、学校規模の適正化とはなんだろうということ、もう少し具体的な内容で話し合った結果を提出したほうが良いのではと思った。例えば適正化のところに、「1 クラス 20 人～30 人を理想としてきめ細かな生徒への教育環境と教員の負担軽減になる人数」ということで具体的に提案した方が方向性を見つけやすいと感じた。2 番目として、小中一貫教育の導入による、建替費用の軽減、小中学校の統合というところで、経費の効率化も考えられると感じた。学校地域の魅力化というところも、何が魅力的なのか、わかりにくいので文章をいれたほうがわかりやすく、具体的に受け取りやすい方向で書いた方が良いのではと感じた。

まとめに 2 つプラスしたほうがよいと思う。1 つは、アンケートを皆さんが書いてくれた中で、人数が多かったのが P T A の保護者への負担というのが出てきている。例えば、P T A の保護者への負担の内容を吟味し見直す必要があると思われる、と追加してもよいのかなと感じた。今までアンケートを取った内容とか反映される内容が、まとめた文章の中にも出てくるのではと感じがしたので、追加で入っても良いのではと感じた。もう 1 つは、登下校の生徒の安全面に配慮するというので、いろんな交通手段や時間帯など、いろいろな項目で話し合ったので、生徒の安全面を配慮した形で記

入したほうが良いのではと感じた。

委員長) 資料には、まとめていますが、表紙のほうにつけたほうが良いということですか。

委員) 1 ページ目は、中身をまとめた表紙なのかなと思う。

事務局) 一番表にあるのが、諮問に対しての答申なので、全部を網羅して載せるのではなく、詳細は報告書に載せる形にしています。みなさんで検討した中で、気にしてほしい内容は、課題として 15 ページに載せてあります。スクールバスや通学路の安全対策などを目立たせるように作成してもらいました。学校のあり方ということなので、PTA、保護者の組織については、入れなかったのですが、PTAの保護者の負担軽減についても検討する必要があるというのを課題として 15 ページにいれさせていただくような形もあるのですが、そういう形でもよろしいでしょうか。

委員) そういう形がいいと思う。表紙に全体に今までの経過がまとめてあるのかなと思ったので、せっかく色々なことがやってあるので、出てこない項目があってはいけないのかなと思う。

事務局) 前回の会議で、これまでの意見を基に、事務局が案を 1 つ作るということになっていたので、叩き台として出させていただきました。案をはじめて見て、いきなりという印象がある方もいると思うのですが、これを基に話し合っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。この内容でみなさんが良いということであれば、このまま進めていきますし、変えた方が良いということであれば、委員会の会議の中で検討していくというものであるので、ご意見をぜひ頂ければと思います。

事務局) 項目については、委員さんのおっしゃった効率化という項目をいれる考えがなかったのですが、入れた方がよいですか。

委員) 望ましい学校教育のあり方というがあるので、表紙に載せた方が良いのではと感じます。

事務局) 学校規模適正化の人数ですが、人数の話というのが会議録を見ると、記録に残っていなかった。適正化ということで、中学校が 20 人くらいでちょうどいい人数という内容は出ていたので、人数を表にはっきり出してしまふのではなく、報告書の中の中学の利点と課題に載せてあります。そこに現在、中学が 1 学級 20 人～25 人と載っているので、そういったところから、このくらい的人数は 1 人 1 人に対する手厚い指導や支援が可能であるということで、読み取っていただくような形でいかがでしょうか。

委員) 理想として、ある程度の人数であるべき、というのではないですか。例えば、一小であれば狭い教室の中に 30 人～40 人が入っているわけですよね。逆に二小では、5 人～6 人しかいないわけですよね。基本とする理想とするものがあるべきだと言うのを、出したほうが良いのではという感じがしました。

事務局) 理想の人数というのはあると思いますが、実際は 35 人学級が基本です。理想の人数を適正化のところに入れてしまうと、それを目指してやってほしいというような形にも捉えられてしまうので、適正化という言葉にしていきたいと思います。長瀬中学校 1 学級 20 人～25 人の利点として、支援がしやすいとか指導がしやすいというところで、検討委員会では、20 人～25 人が良いということは出していないので、そういう学級が望ましいと読み取っていただく形で、載せるのが良いかと思いますが。。

委員) 適正化でわかりますかね。知識があればわかるかもしれないが。

事務局) 検討委員会の結果をふまえて、教育委員会で基本的な方針を作っていくことになるので、その中に 20 人～25 人が良いというのをいれることはできるかもしれないが、実際それに向けてクラス編成ができるのか、となるとできない。

委員) そうですね。理想はあるかなと思う。

事務局) アンケートの項目に 1 クラス何人がいいという項目を入れる考えでしたが、検討委員会で抜いたほうが良いということで、抜いています。

委員長) 理想はあっても、子どもの人数がなかなか増えないのが現状。決まった人数の中で、1 クラス 30 人いかなくても一小、二小が一緒になれば、1 クラス 15 人～20 人くらいになる、そういう中で理想に近づけていくというような。子ども一人ひとりにとってどういう環境が良いかを考えていく。

委員) 一小で、1 クラスに 40 人のクラスがある。アンケートにあった、きめ細かい教育環境ができているかというのと、できていないような気がしたのですが。教員にも負担がかかっているのではなかろうか。ある程度、多いところは少なく、少ないところは仕方がないが、ある程度理想とするところがあって、そこに近づけることができれば良いのではないかと。

事務局) 小学校のほうも順次、今の小学校 2 年生までは 35 人学級になりました。これからは 1 年ごとに 1 学年ずつ上がって 35 人学級になっていきますので、上限も下がり、今のような 40 人近い教室というのは段々なくなって

いきます。今の第一小学校は、3年生以上が、ギリギリ1クラスの数で、コロナの関係で間隔も空けているので、余計に教室が狭く感じると思います。35人学級になると2クラスになるので、中学のように20人くらいで1クラスになり環境的に良いと思います。

委員) アンケートなど、出された案で進めていけたらと思います。

委員) 今までいろいろな意見があった中で、良い答申案だったし、小学校が統合するだけではなく、小中一貫校を現実的に、というのが改めて楽しみだと思った。

委員) 小学校の統合が早期と書いてあり、あえて具体的にしないのはわかるが、その辺の目標というか、もう少し具体的に出しておいたほうが、それに向けて準備などがやりやすいのかなと思った。人数の推計も分かっているので。

事務局) 例えば、複式学級が2クラスできてしまう場合には、統合していたほうが良いとか、意見がこの会議の中で出されるのであれば、そういうことは盛り込むことができますが、今後はこの答申をふまえて、教育委員会でどのようにやっていくか方針を作って、その方針を基に具体的にいつどうするという計画を立てていく予定ですが、計画を立てる段階には、町の財政的なところもあるので、町としてどうするかを含めて具体的に出てくると思います。この検討委員会で、ある程度この頃が良いというのがあれば、載せる事も可能です。

[特に意見なし]

委員) よくまとめられていて、町の人にもいろいろなところで調査とかご協力いただいているので、いろんな答申があると思います。かなり興味を持っている人も多くいるのではないかと、注目を浴びている1つかなと思います。答申として公開されるとなると、細かいところまで見てくる人も中にはいて、それに対する意見を言ってくる人もいるのではないかと思います。この答申は、このメンバー全体が同じ考えで決めましたという事を言えないといけないので、じっくり読んでおいた方が良いのではないかと思います。細かいところも納得がいくよう、まとめて良い答申としたいと思います。

委員) 答申に小中一貫教育の導入、小学校は早期の統合というところで書いていただいています。これを機に、小学校、中学校の魅力がより高まるような学校にしていきたいなと思う。

委員) よくまとめていただいたと思う。課題としてあげられた、地域と学校と

の関係が継続していけるようにということで、一小も二小も地域の人たちに支えられて、良い関係を築いていろいろとお世話になっています。統合になっても地域と良い関係を継続しながら進んでいくと良いなと感じている。

委員) 小中一貫教育が重要であって、導入には一定の期間を要するため早急に統合がということで、関連しているので、答申で2と3に分けずにまとめてもよいのかなと思う。

事務局) 別にしたのは、小中一貫教育についてと、小学校の統合についてということなので、分けています。3を2の中に入れることも可能です。検討委員会としては、小中一貫教育の導入に向かった方がよいということで、提言という形でよろしいですか。

委員長) 2と3を一緒にした方がよいでしょうか。

委員) 人数の問題と、経費、施設の問題で分かれているので、このままで良いと思う。項目としては同じだと思うが。

委員長) 挙手にて決めたいと思います。3の内容を2の中を含めるということで、3の番号のみを消すということで、文章はそのまま残すということでよろしいでしょうか。

[1、2、3の項目を残すほうに挙手する方3人いたが、2に含める形で決まる。]

委員) 学校のあり方検討委員会に参加させていただいて、答申内容に関して適正に判断されていると思う。長いスパンで見て、小中一貫教育の導入に向けて住民との対話、協議そして通学関連の諸問題につき予算的な問題もあると思いますが、最終的には長瀬町の子ども達の為によりよい方向に進んでいければいいなと思いました。

委員長) 色々なご意見をいただきありがとうございました。委員さんから、ご意見のあった「あり方に関する基本的な考え方」に、どのように至ったのかということですが、保護者、地域の人にアンケートをとり、その回答を基に委員会でこの考えに至った。この凄い資料から、その結論に至り、先が見えてきた、考えが煮詰まったものとなった。

委員) 意見よろしいでしょうか。委員さんと同じような意見なのですが、結論に至った、という表現は少し違和感があるように感じる。困難であると考えられる、とか困難が見込まれる、というような感じでどうでしょうか。

事務局) 13ページにあるように、困難であると思込まれる、という言い方でよろしいでしょうか。

委員長) みなさん、よろしいでしょうか。

事務局) この委員会での判断なので、それを載せられればいいと思います。困難であると判断したとか、という言葉でもいいと思いますがいかがでしょうか。

委員) 結論に至ったという言葉はやめましょう。

委員) 判断という言葉でいいと思います。

事務局) 15 ページの基本的な考え方にある、小学校についての2つの検討結果について、委員会としてこのように、判断したことをふまえ、早急に小学校統合を検討していくことが望ましい、という結果になりましたので、判断したということでよろしいでしょうか。

委員長) 委員会として、判断したという表記にすることで、よろしいでしょうか。

〔複数の委員から「はい」という声あり〕

委員長) ありがとうございました。

事務局) ありがとうございました。最後に確認ですが、提言の表紙の内容については、3の番号を消して2つの項目として、2のところは、建替費用の軽減や経費の効率化にも資すると考える、と修正します。委員会の意見として、中学校規模の1クラス20人～25人くらいの環境が望ましい、というのを加えるか、そのまま入れないという形とするか。一番表の答申の学校規模適正化のところは、そのままの表現でよろしいですか。

〔複数の委員から「はい」という声あり〕

委員長) いろいろと意見が出されたところで、修正をしていただいて、次回の会議に委員会として答申することになります。

今回の答申案の修正は事務局に一任し、確認の後、委員長、副委員長の承認をもって完成としてよろしいでしょうか。

〔複数の委員から「はい」という声あり〕

事務局) 次回、教育長へ答申することになります。必要な部分を修正させていただき、委員さんへ送付させていただきます。(修正箇所の最終確認)

委員長) 次回は答申となります。次回も出席いただきますよう、お願いいたします。ご協力ありがとうございました。

(2) その他

4 事務連絡（事務局から）

次回の予定なのですが教育長に答申ということになりますので、予定を確認しまして、委員長・副委員長と日程調整をして日程を決めさせていただければと思います。

日程は1月になると思いますが、修正が終わり次第、みなさんに資料の部分を抜いて修正したものを送らせていただきたいと思います。

期日までに修正した部分の意見がありましたらお送りいただいて、ないようであれば答申として次回の会議の時に教育長のほうに答申をしたいと思います。よろしくお願いいたします。

答申の方法なのですが、委員長が代表して教育長宛に答申書を読み上げ、報告書と一緒に教育長に渡したいと思います。

最後の会議になりますので、委員の皆さんから感想など一言ずついただきまして、任期終了となります。

5 閉会（事務局）